
7

車との上手な つきあいかた

純正部品	124
車にあった部品の使用	124
経済走行のために	125
積雪・寒冷時の取り扱い	
走行前の点検について	125
スノータイヤ、タイヤチェーンについて	126
車の積雪について	126
ドアの凍結について	127
ワイパーについて	127
乗車について	127
滑りやすい路面について	127
ブレーキについて	127
雪の付着について	127
パンクについて	127
駐停車について	128
駐車ブレーキについて	128
駐車方法について	128
格納について	128

純正部品

車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。ホンダプリモ店でお求めになれます。純正部品には、つぎのマークがついています。



車にあった部品の使用

車の性能や機能に影響する個所にはホンダ純正部品以外は使わないでください。また、車の改造は法律に触れることはもちろん、思いがけない事故を起す場合があります。

ラジオ、カーステレオ、アクセサリ部品などを装着する場合でも、装着に際してはホンダプリモ店にご相談ください。

経済走行のために



- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
 - 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
 - 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- 68ページ
- チェンジレバー操作はクラッチペダルをいっばいに踏みこんで行い、クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用をしないでください。
 - 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
 - 車間距離は十分取り、不必要な急ブレーキをかけないでください。

積雪・寒冷時の取り扱い

北海道全域、東北や北陸の積雪地域および山岳地やスキー場などの局地的な厳寒・多雪地域が対象となりますが、その他の地域においても冬期の取り扱いの参考としてください。

走行前の点検について

「運行前点検」の際に下記の点検も行ってください。



- 特に寒暖の差が大きいときは念入りに点検してください。

- ① 車の下回りをのぞき、足まわりなどに氷塊が付着していないか確認してください。付着している氷塊は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。
- ② ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

スノータイヤ、タイヤチェーンについて

雪道、凍結路を走るときはタイヤチェーン、スノータイヤを装着してください。

スノータイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類の、標準タイヤと同じサイズのものに交換してください。



- 地方条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。



- スノータイヤを装着したとき、高速走行は避けしてください。

● 推奨タイヤチェーン

この車は、一般の車と比べタイヤとフェンダーの間がせまくなっています。

そのため、タイヤサイズに合ったタイヤチェーンであっても、取り付けられないものがあります。ホンダ純正スプリングチェーンまたは、それと同等のものをお使いください。



- 推奨タイヤチェーン以外のタイヤチェーンを使うと、ブレーキ配管やフェンダーを破損し、危険です。

● タイヤチェーンの取り付けかた

タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

後輪駆動車ですので、タイヤチェーンは後輪に装着してください。



- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に後輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを前輪に装着し、外した前輪タイヤを後輪に取り付け、これに推奨タイヤチェーンを装着してください。



- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときはつぎの速度以下で運転してください。
雪道、凍結路30km/h以下
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

車の積雪について

屋根に積った雪は、走行する前に取り除いてください。走行時、ガラス面に落下すると、視界の妨げとなり危険です。

氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。

ドアの凍結について

ドアが凍結したとき、無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。このとき、沸騰した湯は使わないでください。ソフトトップにかかるソフトトップクロスを傷める場合があります。

ドアまわりの水分は、凍結防止のためによくふき取ってください。



- ドアキー穴部には、凍結するおそれがあるので、湯をかけないでください。

ワイパーについて

ワイパーブレード(ゴム部)がガラス面に張りついた状態やガラス面に着氷、積雪した状態でワイパーを動かすと、ワイパーブレードを損傷したり、ワイパーモーターの故障の原因となります。必ず取り除いてから動かしてください。

乗車について

靴にこびりついた雪は、乗車時よく落としてください。ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。

滑りやすい路面について

雪道や凍結路では、急加速、急減速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。横滑りして方向性を失い危険です。

ブレーキについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- 万一、ブレーキのききが回復しないときは、ただちにホンダプリモ店で点検を受けてください。

雪の付着について

雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

ときどき異常のないことを確認してください。また、雪道を走った後は足まわりにこびりついた泥、雪は落としてください。

その際、鋭利なものでたたいたりして、車を傷つけないようにしてください。

パンクについて

チェーン装着時に後輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを前輪に装着し、外した前輪タイヤを後輪に取り付け、これに推奨タイヤチェーンを装着してください。

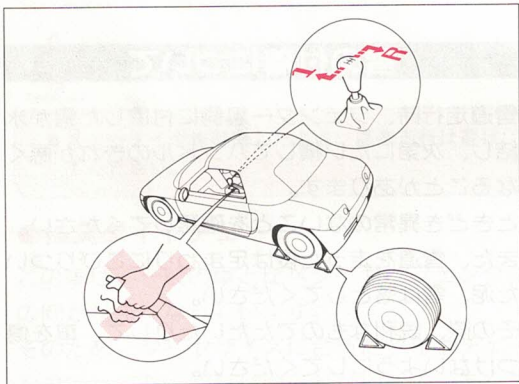
ドアの凍結について ■ ワイパーについて ■ 乗車について ■ 滑りやすい路面について ■ ブレーキについて ■ 雪の付着について ■ パンクについて

駐停車について

落雪や積雪の重みで、ソフトトップなどがへこむことがあります。駐停車するときは、軒下や樹木の下などには止めないでください。

駐車ブレーキについて

駐車するときは駐車ブレーキ装置の凍結を防ぐため、駐車ブレーキを使わないでください。ギヤを R(後退)か 1 に入れ、輪止めをしてください。



駐車方法について

屋外に駐車するときは、エンジンの冷えすぎを防ぐために車の後部を風下や日の当たる方向に向けて止めてください。エンジンが冷えすぎると、始動しにくくなる場合があります。また、ワイパーアームは起こしてください。雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

格納について

長期間使わないで屋外に保管しておくときは、ソフトトップや塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。



- エンジン部を毛布で覆ったり、走行時にフロントグリル内側やエンジンルームのエアインレット内側に段ボールや、新聞紙をはさみ込んだりしないでください。これがもとで燃えだす危険があります。

